

2024年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:法哲学)

(法学研究科)

2024年2月17日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

次の【問題1】、【問題2】ともに解答しなさい。解答の最初に問題番号を明記すること。

【問題1】

近年の「#MeToo 運動」の広まりにより、フェミニズムへの関心が高まっている。
フェミニズムの歴史的展開について重要な論客の議論に言及しつつ説明した上で、現代正義論および法理論におけるフェミニズムの意義について詳しく論じなさい。

【問題2】

法の解釈はなぜ必要となるのか。実定法学で用いられる解釈技法に言及しつつ、法の解釈をめぐる法哲学上の理論蓄積を用いながら詳しく論じなさい。

2024年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:憲法)

(法学研究科)

2024年2月17日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

次の3問の中から2問を選んで解答しなさい。

- (1) 制度的保障について論じなさい。
- (2) 合憲限定解釈について論じなさい。
- (3) 近代立憲主義について説明した上で、近代立憲主義が日本国憲法にどのように継承されているかを論じなさい。

得点

2024年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:行政法)

(法学研究科)

2024年2月17日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

以下の問題1から問題5のなかから、2つの問題を選択して答えなさい。

- 問題1 行政裁量の司法審査のあり方やその基準について検討しなさい。
- 問題2 授益的行政行為(受益的行政行為)の職権取消しの制限について、近年の判例で問題となった事例にも触れながら、検討しなさい。
- 問題3 行政指導の実効性を確保するために行政機関がとり得る手段とその限界について検討しなさい。
- 問題4 取消訴訟における原告適格に関し、2000年頃以降の判例の動向について検討しなさい。
- 問題5 国家賠償法1条1項にいう「違法」の要件の意義について、どのような説をとるかによって結論が異なり得る事例に言及しながら、検討しなさい。

2024年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:刑法)

(法学研究科)

2024年2月17日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題

次の二つの設問のうち、いずれか一つを選択し、答えてください。

設問1

正当防衛と緊急避難の異同について論じてください。

設問2

横領罪と背任罪の異同について論じてください。

得点

得点

2024年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:民法)

(法学研究科)

2024年2月17日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

【問1】 次の〔事実〕を読んで、下記の〔設問①〕〔設問②〕に答えなさい。

〔事実〕

1. Bは、長年の友人であるAから、Bの妻であり、Aと面識のあるCが所有する甲土地を投資目的で購入したい旨の申し出を受けた。Bは、自己の営んでいる事業がうまくいっておらず収入が大幅に減っていたことから、甲土地を代金3千万円でAに売却することを決め、「Cは僕が納得させるから、安心してくれ」とAに言った。
2. Bは、甲土地のAへの売却の話をCに持ち出した。しかし、Cが、「甲土地は先祖代々から受け継がれてきた土地だから、誰かに売るつもりはないと前から説明している」「甲土地は、子孫に残さなければならない」と言って売却することを拒んだため、Bとの間で激しい口論になった。そして、激昂したBが、「言うことを聞かないなら離婚する」と言い出したため、Cは、驚いて泣き出し、「もう分かったから！好きにしてください！」と言い残して家を出た。
3. 後日、Bは、Aとの間で甲土地の売買契約を締結し、その数日後、Aは約束通りに代金全額をBに支払った。そして、Aは、甲土地の所有権がAに移転するための登記がBとの間で約束した期間内に行われることを想定して甲土地の運用の準備を進め、その準備のための費用として3百万円を支出した。
4. Bは、数週間後に家に戻ってきたCに対し、甲土地の登記をAに移転することを求めたが、Cはこれを強く拒んだ。そして、Bは、Cが再度家を出るのではないかと恐れたため、それ以上Cに圧力をかけることをやめた。
5. 数日後、Bは、Aに、甲土地の所有権登記をAに移転できないことを伝えた。甲土地の運用によって少なくとも6千万円の利益を上げることを予定していたAがBに説明を求めたところ、Bは、「甲土地が先祖代々から受け継がれた土地だから、子孫に残したいというCの気持ちは、君もこれまで度々Cから聞いただろう」と答えた。

〔設問①〕

前記〔事実〕における、甲土地についてのA・B・C間の法律関係を説明しつつ、Aが甲土地に関連して誰にどのような請求をし、これに対して相手方からどのような反論がされることが考えられるのか、論じなさい

〔設問②〕

その後、Cが死亡して、BがCを単独で相続したために甲土地がB所有のものとなった場合、Bは、甲土地について、Aとの関係で、法的にどのような地位を有することになるのか、論じなさい。

【問2】 以下の項目の中から1つを選んで論じなさい。

- (1) 使用者責任に関する外形標準説
- (2) 親権者と未成年の子の利益相反行為
- (3) 相続させる旨の遺言

得点

2024年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:税法)

(法学研究科)

2024年2月17日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

次の問題1・問題2とも解答せよ。

【問題1】

租税法における、いわゆる不服申立前置主義について述べなさい。

【問題2】

被相続人である甲は10年前に死亡している。その後相続人(A・B・C)の間で遺産分割協議が難航し、甲死亡後10年目にその解決を相続人Aの代理人である弁護士に依頼し遺産分割協議が成立した。その後相続人Aが当該遺産分割により取得した土地を第三者に譲渡した場合、Aが当該弁護士に支払った遺産分割に係る弁護士費用は、当該譲渡所得の金額の計算上、取得費に該当するか否か、関連する判例に言及した上、述べなさい。

得点

2024年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:政治学)

(法学研究科)

2024年2月17日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

次の中から2つを選び、政治学における研究動向にふれながら論じなさい。

※ それぞれの解答文の左上に番号(丸囲み数字)を書き、選択した項目がわかるようにすること。

- ①民主主義(デモクラシー) ②政党制(政党システム) ③福祉国家
④地方分権(中央-地方関係の変容) ⑤ポピュリズム

得点

2024年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(法学研究科)

(科目名:国際政治学)第1選択科目

2024年2月17日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

以下の3つの問いの中から2つを選択して、それぞれ詳しく論じなさい。

- ①グローバル・サウス
- ②冷戦期のデタント
- ③第二次世界大戦後の日本の安全保障政策と核抑止

得点

2024年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(法学研究科)

(科目名:国際政治学)第2選択科目

2024年2月17日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

以下の3つの問いの中から2つを選択して、それぞれ詳しく論じなさい。

①核兵器をめぐる現在の世界情勢

②新自由主義とグローバリゼーション

③冷戦期の日本外交

得点

2024 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:英語)

(法学研究科)

2024 年 2 月 17 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

以下の文章を読み、問1～2に答えなさい(問題番号を解答の冒頭にそれぞれ明記すること)。

【引用部分は削除しています】

(Rodee, Carlton Clymer, et al., *Introduction to Political Science* より抜粋し一部改変)

(注)

*貴族制(政治) †寡頭制(政治) ‡金権政治

問1 この文章のタイトルを自分なりに考え、それを日本語で記しなさい。

問2 この文章をすべて和訳しなさい。

得点